

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会熊本市支部

いちごにおける年内収量確保に向けた取組み

J A 熊本市白浜苺部会（部会員数 18 名）では、河内町白浜地区でいちごを約 7 ha 作付けされています。

近年、育苗期にあたる 6～9 月において、平年よりも高温傾向が続いています。いちごは高温で花芽分化しにくいことから、定植が例年と比べて 10 日程度遅れることが予想されました。部会からは、年内収量及び総収量の確保を心配する声があったことから、以下の取組を行いました。

【①花芽分化の確認】

9 月に頂果房の花芽検鏡を実施し、花芽分化確認後の定植を徹底しました。

次に、生産者からマルチ及び天井ビニールの展張日に関する質問があったことから、その判断の基礎資料とするために、10 月に第一次腋果房検鏡を実施し、展張基準日を決定しました。

【②生育状況に応じた摘花の実施】

12 月上旬には、いちごの品質低下及び年明け後の株の成り疲れによる減収を防ぐために、生産者とその従業員を対象に摘花・栽培管理講習会を実施しました。生産者のほ場で摘花の実演を行い、現場の生育状況に応じた摘花方法を指導しました。

結果、年内収量は、部会員全員が昨年より多く確保することができました。

今作から、生産者 5 名を対象に、環境モニタリング装置を設置し、栽培環境の測定と生育調査を開始しました。支部では、生産者がデータに基づいた栽培管理を実施し、更なる収益向上に繋がるよう取り組んでいきます。



花芽検鏡の様子



環境モニタリング装置を設置した
栽培ほ場の様子